

## 令和元年度 在校生送辞

冷たい冬の風はいつの間にか暖かい春風に変わり、私たちの心まで温かくしていきます。晴れて明るく気持ちのいい今日の空は、まるで先輩方の卒業を一緒に祝ってくれているかのようです。

三年生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

思い返せば、2年前の入学式で、小学校のときの面影を残した懐かしい笑顔が僕たちを迎えてくださいました。

そして、部活動に入って、「先輩」と「後輩」という関係を初めて経験し、急に越えられない壁のようなものができたのを感じました。部活動では、入部して間もない僕たちに、わからないことをやさしく丁寧に教えてくださいました。僕たちが悲しんでいるときそっと近づいて励ましてくださいました。先輩方がプレイされる姿はとても輝いてみえました。一生懸命に取り組んでいる先輩方の姿を見て、僕たちも頑張ることができました。そして去年の夏、先輩方が引退されると、僕たちは部活動をまとめ引っ張っていくのはとても大変だということを知りました。先輩方の偉大さを改めて感じました。

文化発表会では、さすが3年生と言える展示物がたくさんあり、感心しました。

合唱コンクールでは、歌声が体育館中に響き渡り、迫力ある男子の歌声と透きとおった女子の高音が生み出す、ハーモニーの美しさに、魅了されました。僕たちは、一生懸命歌っている先輩方を見て、強く感動しました。

そして何よりも、中学生としての最後の文化発表会を成功させようという先輩方の心意気は言葉で言わなくても、僕たち下級生にびびん伝わってきました。

体育大会でも、先輩方の姿に圧倒されました。全員リレーで必死にバトンをつなぐ姿、転んでもあきらめずに最後まで走りぬく姿、応援で下級生を引っ張り生き生きと踊る姿はとても凛々しく、僕たちに力と勇気を与えてくださいました。「ゴール」に向かって全力で競技する先輩方の姿勢はとてもとても輝いていました。今でも、あの日のことがまるで昨日のことのように鮮明な記憶となっていて、僕たちの心の中に焼きついています。

先輩方はいつも優しく、かつこよかった。僕たちの先輩でいてくれたことがとてもうれしく思えます。思えば僕たちはいつも先輩方の後ろから、ただついていくだけでよかった。でも、先輩方とともに過ごした中学校生活ももうすぐ終わろうとしています。僕たちが先輩方を尊敬していたように、後輩に尊敬される先輩になりたいと、今、心から思います。先輩方が西中を卒業し、これからそれぞれの道を歩んでいかれるように、僕たちも先輩方が作り上げてこられた西中の素晴らしい伝統をしっかり受け継ぎ、自分たちで考え、話し合い、悩みながら、前に進んでいきます。

先輩方、これからも自分の大事な夢に向かって頑張り続けてください。「あきらめなければ、夢は叶う」…オリンピックに3度出場された、元バレーボール日本代表の佐伯美香さんが教えてくださった言葉です。僕たち在校生も、先生方も、そして家族の方々も、みんな先輩方の応援団です。いつまでもどこまでもずっと先輩方を応援しています。

今まで本当にありがとうございました。

令和二年三月十五日

平城西中学校在校生一同